



くれよん

2008年8月27日 第55号
 NPO 法人町田市学童保育クラブの会
 所在地 町田市忠生 3-12-11
 電話 042-791-2556
 広報委員会 発行



学童保育施設の分割について



10年前に学童保育事業が児童福祉法に位置付けられてから、全国で学童保育クラブの設置が進みましたが、今まで学童保育クラブの設置・運営基準となるものは、ありませんでした。昨年10月、国が「放課後児童クラブガイドライン」を発表し、学童保育クラブの運営に一定の方針を示しました。しかし、法的拘束力はありませんので、どう取り入れていくかは各自治体にまかされています。

ガイドラインの中で、施設規模について「おおむね40名程度とすることが望ましい」としています。また、厚生労働省は放課後子どもプランの中で71名を超えた場合は「分割を促進する」としています。

さらに、厚生労働省は、昨年3月に発表した「放課後子どもプラン疑義回答」の中で、「分割」について以下のように述べ、「生活空間」の確保への配慮が必要なことを述べています。

クラブの分割とは、①小学校の余裕教室の活用などにより別の場所にもう一つクラブ室を設置する、②現在使用しているクラブ室に間仕切り等を設置する、などにより二つの部屋又はスペース（定義については、下欄参照）を確保し、それぞれに放課後児童指導員を配置するなど放課後児童クラブとしての要件を満たして実施することである。

専用スペースとは、子どもが安心して静養又は休息できるよう、生活の場として区切られたスペースである。なお、間仕切り等により専用スペースを確保する場合には、生活の場としての機能が十分確保されるよう留意することとし、そのため、例えば、アコーディオンカーテンや衝立により仕切ることとは相応しくないと考える。また、放課後児童クラブ利用児童以外の入室を禁止するものではないが、生活の場であることを考慮し、常に不特定多数の児童が出入りできるようなスペース（空間）となることは適当ではないと考える。

2008年2月 全国児童福祉主幹課長会議「疑義回答」より

施設を分割した場合に、トイレ、調理室等を共用にすることは可能であるが、「それぞれのクラブ運営に支障（一方の部屋を横切らなければ使用できない設備等）をきたすことがないように充分配慮されたい。」

2008年度、町田の学童保育クラブで71名を超えているクラブは14ヶ所あります。

子ども達が安心して過ごすことのできる余裕のある生活空間を確保するためには、施設の分割が必要です。1施設を間仕切り等で単純に分割するのではなく、施設そのものを分割し、専用スペースを確保することが望ましいといえます。

当法人は「学童保育クラブの充実を求める請願」を3月議会へ提出し、施設の分割を要望しています。6月議会の審議の中で、「分割」のあり方について議員より質問が集中していましたが、再審査となりました。

9月議会では、18日に審議される予定です。多くの方の傍聴をお願いいたします。

おめでとうございます。

第二なかよし

駒井亜矢子先生

8月1日女の子を

出産しました。



法人委員会活動のご紹介

当法人「町田市学童保育クラブの会」の活動を支える委員会が組織されています。保護者と理事、指導員で構成される委員会は調査研究委員会と広報委員会があり、更にテーマ別に担当グループが分かれています。今回は、各委員会の活動についてご紹介いたします。

調査研究委員会



「子どもの居場所」グループ

昨年度行った「高学年保育のニーズ」についての調査、および「冒険遊び場」などの調査結果を参考にしながら、保護者として切実で1番ニーズの高い「学童保育卒会後の子どもたちの居場所づくり」を「地域の子育て支援」という視点を持って、事業にむすびつけていくよう検討していきます。そのためには、国が推進しようとしている「全児童対策」や「放課後子どもプラン」について調査研究し、町田市の動向もみながら「地域での子育て支援」をどのように展開できるか、検討していく予定です。



(あおぞらクラブ指導員 勝亦)

利用者アンケート「満足度調査」グループ



町田市の学童保育クラブの多くが、指定管理者制度で運営されています。指定管理者制度は、民間活力の活用、地域の活性化、経費縮減という社会の流れで進められています。当法人も、継続して学童保育運営ができる保障はありません。そこで昨年度、指定管理者の再選定にむけ利用者アンケートをとり、学童保育クラブを利用される皆さんのニーズがどのようなものなのか、現状の問題点はどこにあるのか、アンケートを通して分析を行いました。また、アンケートをもとに日頃の業務改善をはかることも、目的の一つとして取り組みました。

今年度は、町田市が全クラブを対象に利用者アンケートに取り組む予定となっておりますが、今年から当法人運営となった鶴川・金井クラブに関しては、直接保護者の皆様に現状での思いをお聞きし、今後少しでも充実した学童保育クラブとなるよう、調査研究していきます。また、後半には町田市が行う利用者アンケートのまとめの点検にも取り組みたいと思っています。

(おおくらクラブ指導員 上田)

「児童館・子どもセンター」グループ

子どもたちの遊びの空間であると同時に地域とつながるための拠点としても、今後、児童館・子どもセンターが持つ役割はますます大きなものになるであろうと感じています。

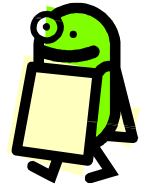
昨年度は子どもセンターの活動というソフト面を中心に調査を行ってきました。今後は将来的に子どもセンターが指定管理者制度となった場合を想定し、施設の運営状況（職員配置・予算執行等）や事業計画について、調査・研究を行い、これからの法人の活動につなげていけるよう、資料を作成していきます。



(どろん子クラブ指導員 山本)

広 報 委 員 会

今年度、法人パンフレットの改訂を行います。このパンフレットは、各学童保育クラブをはじめ関連各機関（健康福祉会館・市民センター・保育園・地域センターなど）に、配布する予定です。



「ホームページ」グループ



今年度は、各学童保育クラブのホームページを定期的に更新し、充実させていきます。ホームページを通して、学童保育クラブの様子を身近に感じていただけるような“ホットなニュースでほっとできるホームページ”を目指していきます。

また、子育てにちょっと役立つ情報や学童保育制度に関する情報など、「情報発信」としての位置付けを明確にし、法人ホームページにコーナーを作成するなど、工夫をしていきたいと考えています。

（金井クラブ指導員 小野）

広報紙「くれよん」グループ

本紙『くれよん』（月1回発行）は、トップページに当法人の大切にしているビジョン、目指している事や方向性、法人全体にかかわるホットなニュースについて毎回掲載しています。また、2ページ以降は、学童保育クラブ内で行われている季節の行事や子どもたちの様子をタイムリーにお伝えするとともに、皆様からのご意見や感想を反映した内容を目指して、広報紙づくりに取り組んでいます。『くれよん』を通じて当法人と学童保育クラブの活動がご理解いただければと思います。広報委員「くれよん」担当も、学童保育クラブの保護者と指導員で構成されています。見ておわかりのように手づくり感が伝わってくるでしょう。今後も皆様に楽しんでいただけるような広報紙作りをめざしてがんばります。



（あおぞらクラブ保護者 伊沢）

※ ホームページ・広報誌『くれよん』ともに、皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。

法人9クラブ テーマソング 大募集

いつも元気・笑顔いっぱいの子どもたちをイメージしたオリジナルの歌を、法人設立5周年を記念して作成することにしました。法人9クラブの子どもたちが集まる機会に、みんなで歌いたいと思います。詞・曲どちらか一つのみでも、大歓迎です。締切は9月末、各クラブの指導員までお願いします。採用された曲は、「くれよん」で発表いたします。みなさん、ふるって応募してください。なお、応募する場合、以下の留意事項をご了承ください。



* 応募要項、留意事項 *

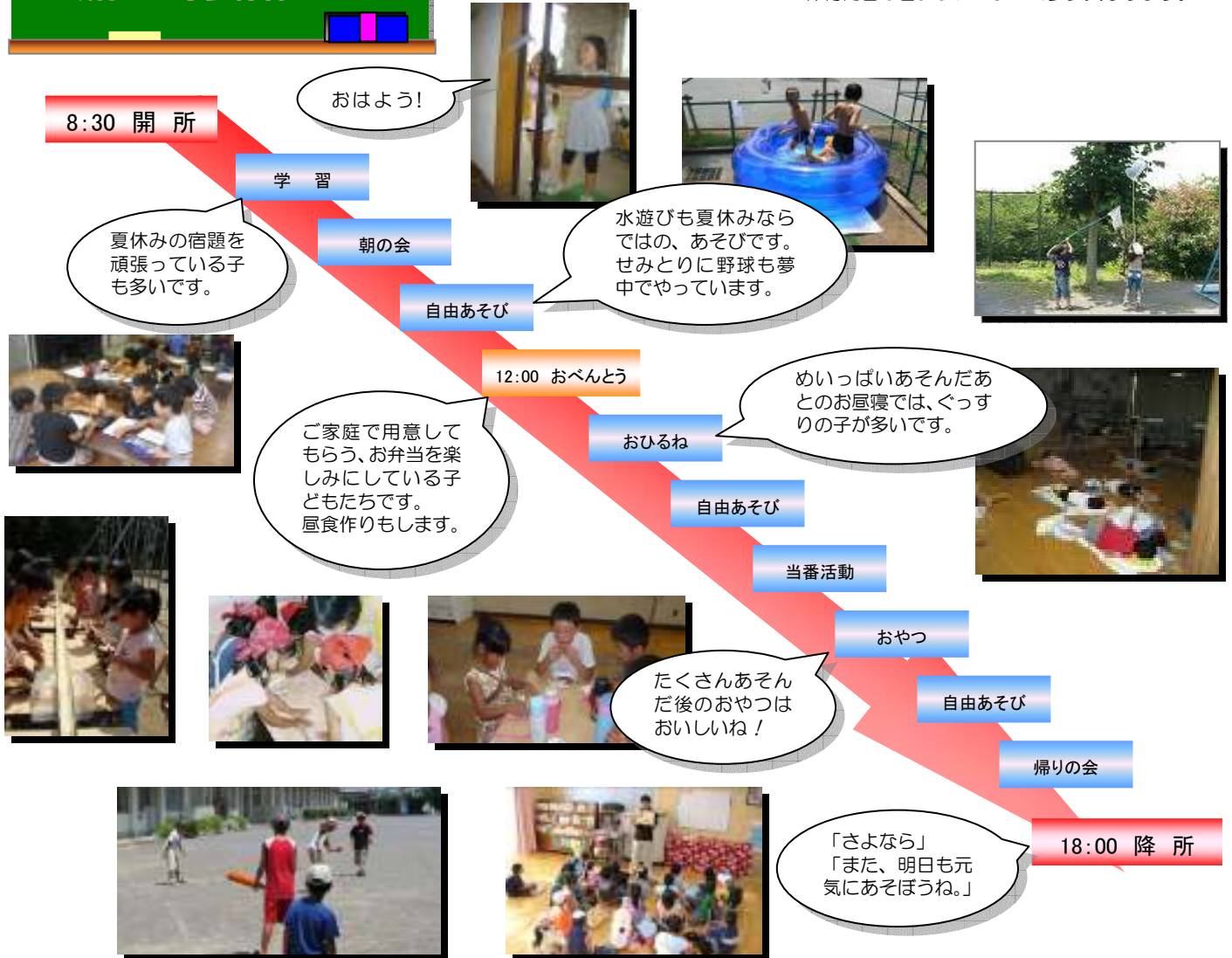
- ・ 作品は自作、未発表のものに限ります。お一人何点でも応募できます。ただし、異なる作品に限ります。
- ・ 応募に要する費用は応募する方の負担とし、応募作品の返却はいたしません。
- ・ 入選作品の一切の権利は法人に帰属いたします。
- ・ テーマソングの最終決定にあたり、作品の一部を変更することがあります。
- ・ 応募作品の著作権に関わる問題が発生した場合、全て応募した方の責任となります。

ちょっと拝見!

夏休みの学童保育クラブ

夏休みも残りわずかとなりました。どの学童保育クラブも1年で1番にぎやかな毎日を送っています。夏休みの1日を紹介します。

※保育内容は各クラブによって多少異なります。



夏休みには、クラブ外保育（遠足）で科学館やプール・映画会にでかけたり、カレーライスやうどんなどの昼食づくりや流しそうめんを楽しんだり、お化け屋敷ごっこ・縁日ごっこ・水あそび大会などの夏休みならではのお楽しみがあります。また、今年の法人9クラブ合同行事は市民ホールにて、町田を中心に活動されている『町田・町躍鼓』による太鼓の演奏を聴きました。
(わんぱく指導員 石田)

今後の予定

9月 5日 (金)	調査研究・広報委員会	19:30~	公民館 学習室1・2
9月 7日 (日)	事務局会議	10:00~	なるせ駅前市民センター
	第26回 理事会	14:00~	なるせ駅前市民センター
9月19日 (金)	運営委員会	19:30~	ことばらんど 会議室6

編集後記

- 子どもの頃の夏の思い出は、大人になってもなお強烈な印象で心に残るものですね。暑いグラウンドでの野球、虫取りの様子などを見かけると子どもの頃の情景がふと思い出されます。あーあ、おやじになったなー。夏休みも終盤ですが、いっぱい遊んでみんな楽しい思い出を作ってもらいたいものです。
(あおぞらクラブ保護者伊沢)
- 広報委員会新体制で初めて作成した『くれよん』です。委員の皆さんと共に、『くれよん』の充実を図っていきたくと思います。今年の夏休みも、ひまわりのように元気いっぱいの子どもたちとキャンプからスタートし、せみとりに工作・昼食作りとたくさんの思い出ができました。
(わんぱくクラブ指導員石田)

『くれよん』は保護者と指導員で構成された広報委員会が毎月発行しています。バックナンバーの一部はホームページでご覧いただけます。
<http://www.machida-gakudou.com>